

各 位

上場会社名 ユニパルス株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 吉本喬美
 (コード番号 6842)
 問合せ先責任者 常務取締役経営統括本部長 和田倫幸
 (TEL 03-5148-3000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年9月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,742	277	284	137	25.71
今回発表予想(B)	2,021	3	15	2	0.38
増減額(B-A)	△721	△274	△269	△135	――
増減率(%)	△26.3	△98.9	△94.7	△98.5	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年9月期第2四半期)	2,692	370	378	231	43.06

平成21年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,001	565	578	298	55.92
今回発表予想(B)	4,968	192	226	130	24.52
増減額(B-A)	△1,033	△373	△352	△168	――
増減率(%)	△17.2	△66.0	△60.9	△56.4	――
(ご参考)前期実績 (平成20年9月期)	5,661	589	617	362	67.59

平成21年9月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,949	283	327	183	34.34
今回発表予想(B)	1,258	52	138	76	14.32
増減額(B-A)	△691	△231	△189	△107	――
増減率(%)	△35.5	△81.6	△57.8	△58.5	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年9月期第2四半期)	1,768	351	406	271	50.52

平成21年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,900	482	537	289	54.23
今回発表予想(B)	3,454	251	341	202	38.10
増減額(B-A)	△446	△231	△196	△87	――
増減率(%)	△11.4	△47.9	△36.5	△30.1	――
(ご参考)前期実績 (平成20年9月期)	3,524	593	670	426	79.69

修正の理由

米国におけるサブプライムローン問題を発端とした世界的な金融市場の混乱は实体经济にも影響を及ぼし、景況感の悪化が急速に進んでおります。当社グループにとっても設備投資等へ急速な需要低迷から国内外の製造業向けウェイング、ファクトリーオートメーション計測機器やメカトロニクス分野の受注は伸び悩んでおり、厳しい状況が今後も続くと予想されることから売上高の減少は避けられない見込みとなりました。具体的には、ウェイング・ファクトリーオートメーション分野で前回予想を約21%下回る約5億円の減収を見込んでおります。

それに伴い、営業利益、経常利益及び当期(四半期)純利益はいずれも前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

当社グループといたしましては、少しでも業績の向上を図るべく従業員一同、新規・既存顧客における需要開拓や経営資源の有効活用及び経費削減といった収益力の強化に努める所存であります。

その一環として、本日発表の「子会社の吸収合併に関するお知らせ」に記載の通り、株式会社ナノテストを当社に吸収合併することを決定しており、これに伴い第2四半期累計期間及び通期個別業績において特別損失に抱き合わせ株式消滅差損33百万円を計上する見込みであります。

また平成20年12月3日発表の「株式会社ナノテックス株券等に対する公開買付けの結果及び子会社の異動に関するお知らせ」に記載の通り株式会社ナノテックスを連結子会社化しております。

以上の要因を考慮した結果、上記の通り業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき判断したものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、この予想とは異なる場合があります。

以 上